

歴女がゆく

発見！私のイチ押し仏像 VOL. 12

重要文化財

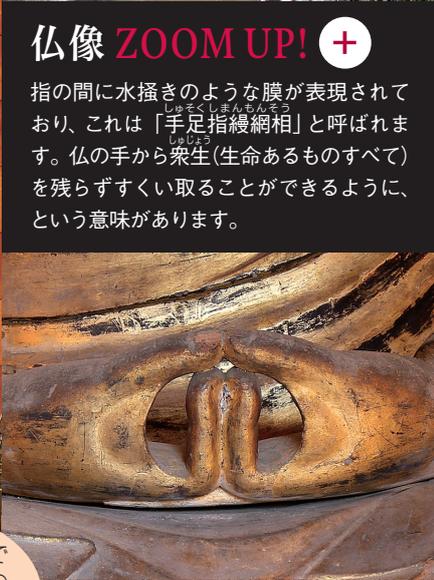
木造 阿弥陀如来坐像

平安時代／興禅寺蔵

住宅街の中にある
静かなお寺です。
隣には神社も♪

仏像 ZOOM UP! +

指の間に水掻きのような膜が表現されており、これは「手足指縷網相」と呼ばれます。仏の手から衆生(生命あるものすべて)を残らずすくい取ることができるように、という意味があります。



阿弥陀仏としては市内で一番大きいとか。当時の人々の思いや信仰心が伝わってくるお姿ですね。



個性的な姿の羅漢像も見どころ。訪れた際はこちらもぜひ！



阿弥陀如来とは、西方極楽浄土の教主とされ、死後の安楽を約束し、極楽往生をかなえる仏とされています。平安時代に末法思想が広まると、広く信仰されるようになり、現在では、最も一般的に信仰される仏のひとつとなっています。

興禅寺の阿弥陀如来坐像は寄木造であり、身長が144.2センチもあります。両手をへその前で組み、親指と人差し指をあわせて輪を作る上品上生印を結び、片足を他の片足のものの上に組んで座る結跏趺坐の形をとっています。

目は彫眼で、穏やかで優美な表情をもち、なだらかな肉付けなど全体的に控えめな彫刻が施され、このような特徴から平安時代末(12世紀)に制作されたものと考えられています。普段は秘仏として一般公開されていない阿弥陀如来坐像ですが、3月16日(日)午前9時～正午に拝観することができます。

仏像まめ知識 ⑫ 仏像と社会

ストレスの多い現代社会では、仏像に癒しを求める人が増え、数年前から仏像鑑賞が静かなブームとなっています。しかし長い歴史の中では廃仏毀釈と呼ばれた苦難の時期もあり、多くの仏像が破毀されました。本市域では堂庵などを含めて50以上の寺院が廃寺となり祀られていた仏像や仏具は他の寺院に移されることがありました。



仏像ブームのきっかけになった興福寺の国宝阿修羅像

今月の歴女

西村祐子さん

休日は美術館や博物館へ行くことが多いです。地元の河内長野にも四季折々の景色と歴史を感じさせてくれる文化財やお寺があると知り、驚きです。もっと河内長野のことを知りたくまりました！



美加の台駅下車、北へ徒歩約10分

発行／河内長野市 編集／市長公室広報広聴課 発行日／平成26年3月1日
市役所／〒586-8501 大阪府河内長野市原町一丁目1番1号
☎0721-53-1111(代) FAX 56-1761 ☎54-1000(留守番電話)



広報かわちながの
平成26年(2014年)3月号(No.1085)

ホームページ <http://www.city.kawachinagano.lg.jp> Eメール info-kuw@city.kawachinagano.lg.jp
お知らせ電話で(休日急病診療所の日程などを24時間案内) ☎0120-930-073
市役所開庁日時／月～金曜日午前9時～午後5時30分(土・日・祝休日、年末年始を除く)